

ご厚父様の心逝去 謹んじ  
お悔 申しさす

過日お電話と賜りおかげさう  
在界帥にも有るを先まごしたがりさぞ  
大変な心労 心腐心の程が手に取るように  
わかりました 須本中陰と お大事に  
して下さいますよう

残念ながら伊音了校同窓会の勤めと  
思いつくしの関係者に同封のコピーを

配布したかった

みな、一様に残念を申し、ご冥福を  
お祈りいたしておりました

合掌

追て 娘の一家が旦那の

仕中の都合で 二人の孫ごもは益岡ト

卒業がす 益岡さきさ踊りの連ト

出場したことも多し何度が 考ふには

行きまされた

殊に金岡先生の筆畠、林学、牧、花巻、支校、  
岩手大学、由農学部、農業資料館へしと  
入場料と支払して行つておられます。その時、  
管理事務室まで、遊覧の甲子卒業生です。  
特別の意、固もなして云うたところ、びくびく  
同念、長、の丹羽、之もの、ご尽力により  
文科部有、認可がおりたと教えられました。  
隈無く、是学いたし、ました。ろ、学校、長、を  
宮澤、濱治、イラスト、ブ、園、係、物、も、その、ま、  
展、系、ナ、ム、て、お、り、り、ま、す、が、日、本、の、オ、ム、  
設、立、の、考、校、だ、と、感、銘、を、受、け、て、お、り、ま、す。

ついで丹羽先生と懇話で長文に  
なりしものが向寒の折柄と自筆  
あや念の程と

お具

平成二十八年十二月六日

丹羽安子様

俊彦様

丸川知恵子様

〒529-0234  
滋賀県長浜市高月町柏原七六  
雨 森 俊 彦  
電話(〇七四九)八五二三九五